

「国内株式議決権行使指図結果の個別開示」について

アセットマネジメントOne株式会社（東京都千代田区、取締役社長 西恵正、以下「AM-One」）は、8月30日、国内株式議決権行使指図結果の個別開示をウェブサイトにて行いました。

このたび、本年4月から6月に開催された株主総会の付議議案に対する議決権行使指図結果について、議案の主な種類ごと（剰余金処分案、取締役・監査役選任議案など）の集計結果と投資先企業の個別議案ごとの行使指図結果を、AM-Oneウェブサイトにて公表しました（<http://www.am-one.co.jp/company/voting/>）。今後は、四半期ごとに議決権行使指図結果を公表していきます。

当レポートの公表は、本年5月29日に公表された日本版スチュワードシップ・コードの改訂を踏まえた「スチュワードシップ活動に係る対応」の一つとして実施するものです。AM-Oneでは、本年6月30日に「議決権行使に係る利益相反管理の高度化」と「スチュワードシップ活動に係る対応」を柱とする「アセットマネジメントOneスチュワードシップ活動に係る取組について」を公表しました。

AM-Oneは、スチュワードシップ責任を適切に果たすことが、日本の経済・社会に〈豊かな実り〉をもたらすと確信しています。引き続き、「責任ある機関投資家」として適切なスチュワードシップ活動を行い、社会資源の最適な配分を促すことで、経済・社会の健全な発展に貢献したいと考えています。

以上

【アセットマネジメントOneについて】

アセットマネジメントOne株式会社は、DIAMアセットマネジメント株式会社、みずほ信託銀行株式会社の資産運用部門、みずほ投信投資顧問株式会社及び新光投信株式会社（以下、総称して「統合4社」）が統合し、2016年10月1日に発足した資産運用会社です。「投資顧問事業」と「投資信託事業」の双方の事業領域における運用資産残高は約54兆円とアジアトップクラスの規模を誇ります。

統合4社が長年にわたって培ってきた資産運用に係わる英知を結集し、資産運用のプロフェッショナルとして、グローバル運用リサーチ体制に支えられた伝統的資産のアクティブ運用や金融工学を駆使した最先端の運用戦略等、個人投資家や機関投資家の多様な運用ニーズに対し、最高水準のソリューションの提供をめざします。HP：<http://www.am-one.co.jp/>

運用資産残高は2017年6月末時点。

商号等 / アセットマネジメントOne株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第324号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会